

## 1-3 銀行勘定調整表

銀行勘定調整表では、銀行の残高と企業の帳簿上の残高をどう合わせるかを考えて下さい。



### ●銀行勘定調整表

当座預金に関する帳簿の記録（当座預金出納帳と当座預金勘定）が正確に行なわれていても、実際には取引銀行の当座預金残高とは一致しないことがあります。これは、企業と銀行とで記帳についての時間的なズレなどが生じるからです。そこで当座預金について、定期的（たとえば毎月末の月次試算表作成時）に銀行から当座預金残高証明書を取寄せ、企業の帳簿残高との一致を確かめ、記帳の正確性を検証しなければなりません。その際に作成されるのが**銀行勘定調整表**です。

### ●不一致の原因

当座預金の帳簿残高と銀行の当座預金残高との不一致の原因には次のようなものがあります。

### コメント

決算では帳簿残高を正しい数値にしなければならないため、決算において作成された銀行勘定調整表にもとづいて、必要事項につき決算整理仕訳を行います。

	具 体 例	企 業 側	銀 行 側	当 社 修 正 仕 訳
(1)	未取立小切手	入金記帳	未記帳	仕訳不要
	締め後入金（時間外預入）			
(2)	未取付小切手	出金記帳	未記帳	出金取消記帳
	未渡小切手			
(3)	当座振込（入金）の当社未通知	未記帳	入金記帳	入金記帳
(4)	当座引落（出金）の当社未通知		出金記帳	出金記帳

(1) 未取立小切手：得意先振出の小切手を銀行へ預け入れたが、いまだ取り立てられていないもの。

締め後入金：銀行営業時間終了後に入金したため銀行で翌日に入金処理されたもの。

(2) 未取付小切手：取引先に振出した小切手で、取引先が銀行から取り立てていないもの。

未渡小切手：小切手を振出したが、取引先に未渡していまだ手許に保管されているもの。

### 例題

銀行勘定調整表を作成して、当座預金勘定の残高¥600,000 と銀行の残高証明書の金額¥679,000 との不一致の原因を調べたところ、仕入先京都商店に対して買掛金の支払として振り出した小切手¥70,000 が未だ銀行で未払いであるほか、預け入れた小切手（得意先大阪商店より売掛金の回収として受け取ったもの）¥198,000 が¥189,000 と誤記帳されていたことが判明した。

(借) 当 座 預 金            9,000            (貸) 売 掛 金            9,000

未取付小切手¥70,000 は修正不要ですが、誤記入については修正仕訳が必要です。